

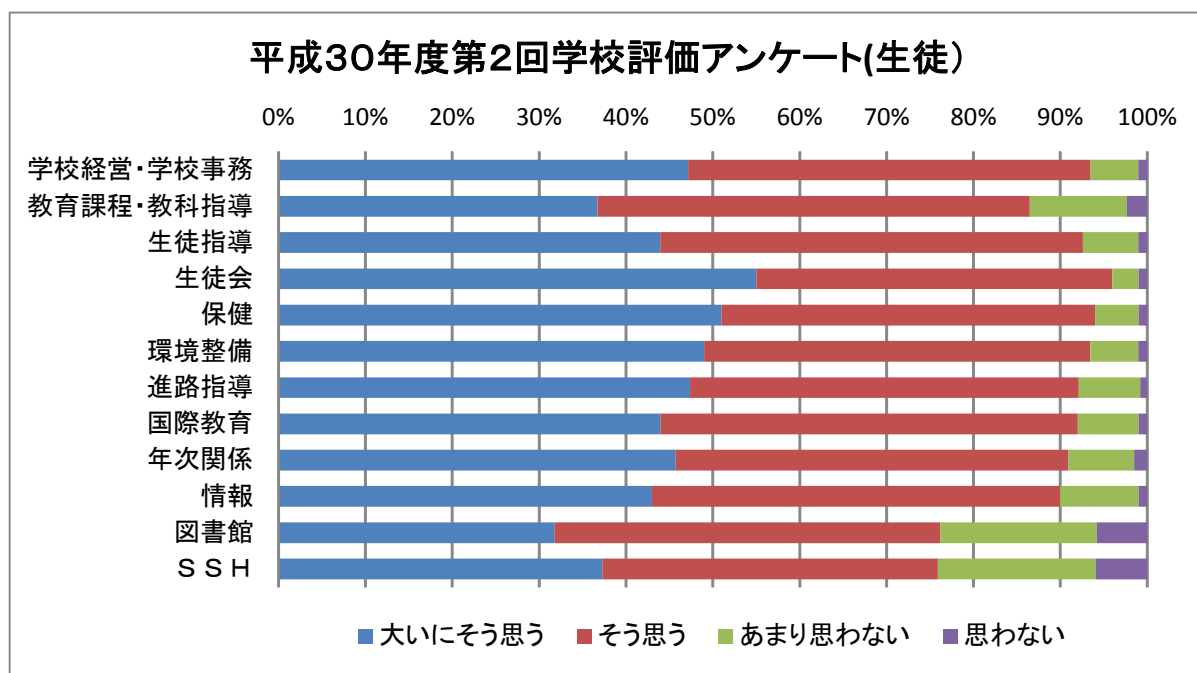
1 学校評価の方法

- 時期 平成30年7月（第1回）及び12月（第2回）
- 評価者 生徒、教職員及び保護者
- 方法 学校改善・点検シートにより達成度を4段階で評価する。

2 第2回学校評価結果（平成30年12月実施）

（1）生徒アンケート結果の概要について

- 対象生徒数：703名
- 回収者数：666名（回収率：94.7%）
- 質問項目数：32
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次のとおり。



※ 調査項目32項目で、肯定的な評価の平均は89.0%（昨年比 -3）

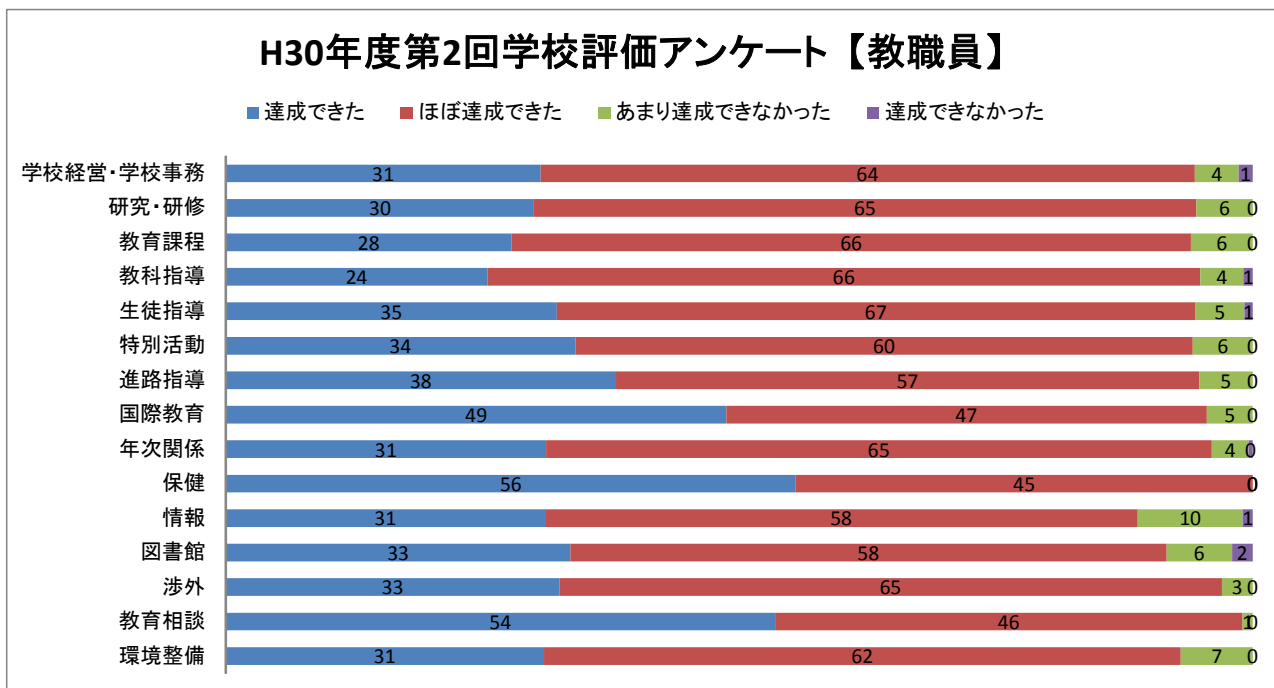
※ アクティブラーニング、ICT、クラッシーなど新しい評価項目を導入した。

- 肯定的な評価が特に高い項目（95%以上） 今年（昨年比）
 - ・命を大切に心や社会のルールを守る態度を育成している。 96% (-1)
 - ・教室・特別教室・運動場や体育館などは、良く整備されている。 96% (-1)
 - ・学園祭等の生徒会行事が、自主的に企画・運営されている。 96% (-1)
 - ・進路意識を高めるため、講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 95% (0)
- 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）
 - ・シラバスや学習計画表が効果的に活用されている。 79% (-6)
 - ・図書館がHR活動や授業で有効に活用されている。 64% (-9)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が高い項目（95%以上）
 - ・自分から積極的にあいさつしている。 95% (-1)

- ・ 8時25分には着席している。 97% (0)
 - ・ 授業開始のチャイム席を守っている。 97% (+1)
 - ・ 服装・頭髪などの規定をしっかりと守っている。 99% (+1)
 - ・ SNS等への書き込みについては日頃から気をつけている。 98% (0)
 - ・ 校内での携帯・スマホ等の使用ルールを守っている。 97% (-1)
 - ・ 交通安全について、規則を守るよう心かけ、安全に配慮している。 98% (-1)
 - ・ 冷やかしやからかいは、意識して慎んでいる。 96% (new)
 - ・ 学園祭などの学校行事に積極的に参加し、活動している。 95% (-2)
 - ・ 心身の健康に関心を持ち、日常的に健康維持のため気をつけていることがある。 95% (0)
 - ・ 学校の施設を大切に使っている。 99% (+1)
 - ・ 節電・節水などエコ活動に積極的に取り組んでいる。 96% (-1)
 - ・ 課外・サタデーサプリー・模擬試験などに意欲的に取り組んでいる。 95% (-1)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が低かった項目 (75%未満)
- ・ 学習計画表を積極的に活用して、日々の学習に役立てている。 70% (-5)
 - ・ 授業の予習・復習はしっかりと行っている。 70% (-1)
 - ・ 家庭学習時間は、年次+1時間程度を実行している。 53% (-4)
 - ・ Classi を積極的に活用している。 74% (+18)
 - ・ 読書、学習、調査のために利用するなど、図書館を有効に活用している。 48% (-15)

(2) 教職員アンケート結果の概要について

- 対象教職員数：48名
- 回収者数：45名 (回収率：97.9%)
- 質問項目数：59
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。



※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価が95%以上の項目は34（昨年32）であった。

※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価の平均は94.6%（昨年比+1.2）

○ 特に肯定的な評価が高い項目（98%以上）

- ・教職員全体の服務規律への自覚が高い。 98% (0)
- ・長期的見通しに立って、施設・設備の点検・維持・管理が行われている。 100% (+2)
- ・研究・研修の成果について、職員会議等で報告され、研究紀要に掲載されるなど全職員に伝達・活用されている。 98% (+4)
- ・SSHの活動は広く認識され、地域や保護者に関心が持たれている。 98% (+4)
- ・知識技能の習得に加え、思考判断表現についても育成・評価に努めている。 98% (+4)
- ・評価基準を明確にし、生徒の学習状況を適切に評価している。 98% (+4)
- ・エイズ・薬物乱用防止などの健康問題について、専門機関との連携を図り、講演会などを実施している。 98% (+2)
- ・「いじめ防止」に対する指導が、全教職員の共通理解のもと、計画的に実施されている。 98% (+2)
- ・部活動や各種委員会の活動が活発に行われている。 100% (+4)
- ・進路意識高揚のため講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 98% (+2)
- ・英国姉妹校への生徒の送り出し、受け入れが円滑に行われている。 98% (0)
- ・年次内の係分担が適切に行われている。 100% (+4)
- ・年間を通じて学校生活に対する適切なガイダンスを行っている。 98% (0)
- ・家庭との連絡や三者懇談等を通して相互理解が図られている。 100% (+2)
- ・保健室が学校の健康管理センターとして機能し、生徒の実態や情報の共通理解がなされている。 100% (0)
- ・生徒が健康について問題意識をもつような指導がなされている。 100% (+2)
- ・PTA活動は職員に十分理解されて行われている。 98% (+4)
- ・心に問題をもつ生徒の支援体制が整備されている。 100% (0)
- ・心のケアに関わる講演会や研修・情報提供が適切に行われている。 98% (+6)

● 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）

- ・なし（昨年度は4項目）

◎ 昨年より肯定的な評価が10%以上上昇した項目

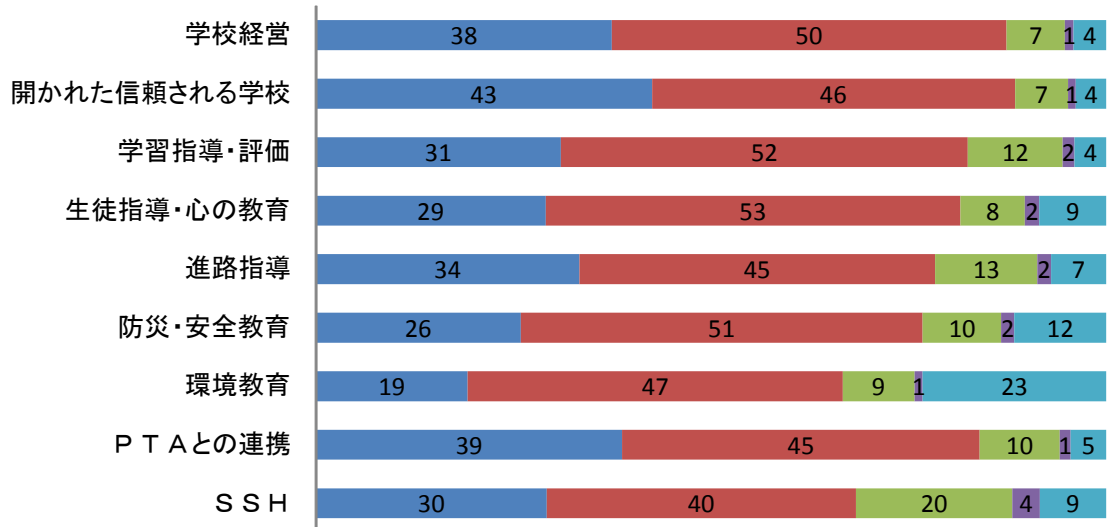
- ・教職員同士が気軽に相談できる雰囲気がつくられている。 85% (+16)
- ・本校はシラバス・学習計画表を効果的に活用している。 87% (+12)

(3) 保護者アンケート結果の概要について

- 対象保護者数：703名
- 回収者数：673名（回収率：95.7%）
- 質問項目数：30
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。

H30年度第2回学校評価アンケート【保護者】

■ 1:大いにそう思う ■ 2:だいたいそう思う ■ 3:あまりそう思わない
 ■ 4:全くそう思わない ■ 5:分からない



※ 調査項目 30 項目のうち、肯定的な評価が 85 % 以上のものは 14 項目（昨年 13）であった。

※ 調査項目 30 項目のうち、肯定的な評価の平均は 82.2 %（昨年比 +0.2）

○ 特に肯定的な評価が高い項目（90%以上）

- ・ 学習活動・学校行事・部活動等において特色ある教育を行っている。 94% (+1)
- ・ 心身ともに健康な生徒の育成に努めている。 93% (+1)
- ・ 学校行事が計画的に行われている。 94% (-1)
- ・ 本校の P T A は、学校行事や生徒指導に協力している。 92% (-2)
- ・ お子さんは、明るく充実した学校生活を送っている。 92% (-1)
- ・ 本校のホームページやブログの存在を知っている。 95% (+2)
- ・ お子さんを本校に入学させて良かったと思う。 92% (0)

● 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）

- ・ 生徒一人一人を大切にす姿勢で指導に当たっている。 79% (-2)
- ・ 避難防災計画を生徒や保護者に分かりやすく伝えている。 72% (+5)
- ・ いじめのない学校づくりに向け組織的に取り組んでいる。 74% (new)
- ・ 進路指導の年間計画を分かりやすく説明している。 77% (+4)
- ・ 積極的に生徒・保護者が必要としている進路情報を提供している。 71% (-5)
- ・ 日川高校の S S H の活動について、興味・関心がある。 64% (+2)
- ・ S S H の研究指定は、日川高校の魅力の一つになると思う。 74% (-2)
- ・ ゴミの分別など環境教育の視点から適切な指導が行われている。 66% (-5)
- ・ 生徒理解に努め、自主性・自律性を高める指導を行っている。 79% (0)
- ・ 同じ歩調で生徒指導を行っている。 70% (-4)
- ・ お子さんは学校の学習課題に積極的に取り組んでいる。 79% (+1)
- ・ 学校からの通知や案内などの配布物は手元に届いている。 75% (+1)
- ・ お子さんと担任や年次の先生との信頼関係が出来ている。 79% (0)

3 学校評価考察

生徒、保護者及び教職員の学校改善に関するアンケート結果を見ると、概ね昨年度に比べて肯定的評価が上がっており、本校の教育活動は、全体としては生徒及び保護者の期待に応えられていると考える。学習面においては、ICTの活用や「やまなしスタンダード」を意識した授業実践など生徒の興味関心を引き出す取組が広がっており、生徒が主体的に授業に取り組んでいることが窺える。その一方で、家庭での目標学習時間については肯定できる生徒が約5割と、課題を残している。家庭学習の時間確保については、新しく導入したClassiの活用、各年次と部活動顧問の両面からの働き掛け等に加え、学校と家庭の連携強化による指導が必要であると考えている。学習時間集計などのデータを元にした声かけや予習中心の反転授業を模索するなど、ICTを活用しながら、学習に対する主体性を育てていく必要がある。進路面では、オープンキャンパスや進学説明会に積極的に参加する生徒は増えているが、そこから進路をイメージして学習への動機付けにするなど、具体的な行動に繋がっていない生徒も多い。このことはキャリア教育を進める上での課題であると考えている。

保護者が教育活動に高い関心を持ち、協力的であることは本校の強みであり、教育活動を進める上で大きな推進力となっている。保護者との信頼関係を維持していくためには、校内の情報を積極的に公開するなど、開かれた学校づくりが欠かせない。学校ではホームページやブログ、学年だより、広報紙「紫風」等を通して情報を提供している。ブログは昨年の反省を元に、行事だけでなく授業や日々の活動を含め「毎日更新」を目標に情報を発信している。ホームページの閲覧数も増加しているが、アンケートでは保護者が「わからない」を選ぶ項目も多く、更なる工夫が必要である。

2期目に入ったSSHでは、対象を全校に拡大していくという方針のもと、学校設定教科SSHや1・2年次生全員による課題研究（SSI，SSII）に取り組むにより、生徒の学習意欲の向上や課題発見・解決能力の育成を目指している。生徒や保護者の評価は徐々に上がってきているが、SSHの教育効果を充分実感する段階までは道半ばである。来年度は3年次まで揃い、文字通り全校で取り組むことになる課題研究に関しては、今年度までの取組を批判的に検証して教育効果の高いものとすると共に、その成果の外部への広報についても今後さらなる努力が必要である。

本校では、学校を挙げてアクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業改善に取り組んでいる。知識伝達型の授業形態から脱却し、「主体的・対話的」活動を取り入れながら「深い学び」を実現することをねらいとするものである。この実践が、「生徒が主体的に参加する授業」に繋がり、生徒が充実感を持っていることがアンケート結果から読み取れる。それを「深い学び」に繋げ、新評価基準に基づく学力の向上と新大学入試に向けた実力アップを図るために、各教科でさらなる研究を要す。

教職員については、不登校や多様な生徒への対応など負担も大きくなっており、多忙化の改善を含めメンタルヘルスについて注意しなければならない。アンケート結果を見ると「悩みなどを気軽に相談できる雰囲気を作られている」について肯定的な回答が増加しており、多忙な中にも救いのある状況であるが、引き続き「働き方改革」を進めていく必要がある。

「文武両道」を基軸とする本校の教育目標・指導重点は保護者や地域にも広く共有され、教職員はその支援をバックに教科指導・生徒指導・進路指導及び部活動指導に熱心に取り組んでいる。この強みを活かしながら、生徒に高い目標を持たせ、それを実現させるために質の高い教育活動を展開していく必要がある。さらに、本校は今後も「地域の知の拠点」として、中学生にとって魅力ある学校であり続けなければならない。特色を活かした教育活動を継続し、地域との信頼関係を揺るぎないものにしていくことが求められている。

4 課題と改善に向けて

(1) 課題

- ① 生徒
 - ・家庭学習時間の確保について
 - ・主体的かつ計画的な学習への取組について
 - ・Classiの有効活用について
 - ・図書館の有効活用について
- ② 教職員
 - ・アクティブラーニング（AL）の視点からの授業改善
 - ・Classiや大型テレビなどのICTの有効活用について
 - ・生徒の進路意識の高揚による学習への動機付けについて
 - ・SSHの課題研究への全校体制の構築について
 - ・教職員の多忙化改善とメンタルヘルスについて
- ③ 保護者
 - ・学校と家庭が連携した生徒指導について
 - ・防災計画の周知について
 - ・進路情報の提供や進路計画に関する説明について
 - ・学校からの配布物等の取扱いについて
 - ・保護者へのSSHの取組の周知と理解について
- ④ 学校評議員・・・別紙

(2) 改善に向けて

- ① 新しい学力観に基づく確かな学力、資質・能力の育成
 - ・生きて働く「知識・技能」の習得
 - ・課題解決のための「思考力」・「判断力」・「表現力」の育成
 - ・学びに向かう力、人間性等の涵養
- ② 授業改善、授業力向上、ICTの活用への取組
 - ・ALや「やまなしスタンダード」を意識した授業改善
 - ・ループリックやポートフォリオなど評価（振り返り）についての研究
 - ・Classiや大型テレビなどの活用法の研究
- ③ 家庭学習時間の確保に向けた取組
 - ・部活動とのバランスを含めた放課後の使い方の検討
 - ・タイムマネジメントを意識させる取組
 - ・授業と連動した課題の与え方についての研究
 - ・シラバス、学習計画表を活用させる工夫
- ④ SSHの取組
 - ・課題研究（SSI・II・III）の充実に向けた具体的な取り組み
 - ・「ちえぶくろシステム」の活用と全校体制の強化
 - ・SSH関連行事の充実と積極的な広報

⑤ 進路指導について

- ・SSHと連動した進路意識高揚に向けた指導の実践
- ・模試データ等の教科、年次、部顧問による情報共有と連動した指導
- ・入試問題、小論文、面接等の分析と教員への研修
- ・新共通テストや高大接続改革に関する教員研修の実施
- ・全校態勢による3年次生への進学・就職指導の充実
- ・保護者対象進路講演会の工夫

⑥ 生徒会活動について

- ・部活動数の削減に向けた検討
- ・応援団の団員の確保
- ・文武両道を実現する合理的な練習、指導計画の研究
- ・生徒、保護者、同窓生及び県民の期待に応える成果
- ・地域のボランティア活動への参加

⑦ 信頼される学校を目指して

- ・安全・安心な学校づくり（危機管理の徹底）
- ・学校と家庭との連携による生徒指導の実践
- ・教育活動の保護者への周知

⑧ その他

- ・先進校の視察や校外研修への積極的な参加
- ・広報活動の充実による受検生の確保
- ・学校ホームページのさらなる魅力化
- ・学校紹介ビデオ・学校パンフレットのさらなる工夫
- ・「紫風」、「学校新聞」、「各種便り」等の内容の充実と発行回数の増加